

審 判 要 領

各校の審判員は、次のことを守って審判を行ってください。

対戦校同士で、互いに審判を出す。

審判は中立の立場で行う

両校の審判員は、試合の始まる前に「ボ - ル、スコアカード、校名プレート」などを本部に取りに行き、試合の準備をする。

両校の監督・選手を並べ、「試合前の挨拶」の司会を行う。

ウォ - ムアップ時間 3 分を計る。（「残り 2 分」、「残り 1 分」、「残り 3 0 秒」、「タイム」をコールする。）

判定のコ - ルなど、はっきりと分かるように大きな声で行う。

ハンドシグナルは、あくまでも補助的なものとする。

エンドチェンジのときは、選手がベンチに戻って来てから 6 0 秒を計り、「タイム」とコールする。

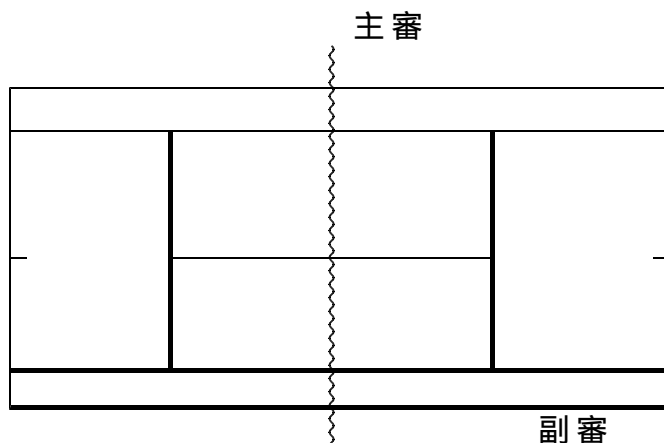
スコアカードには、勝者のサインなど記入もれのないように注意する。

1 試合終わるごとにスコアカードとボールを本部に提出する。

試合と試合の間の時間のロスを無くすよう注意する。

全ての試合が終了したら、「ボ - ル、スコアカード、校名プレート」などをそろえて、本部へ返却する。

大会期間中、いつでも本部から連絡が取れるよう、会場を離れないよう心掛ける。



この太いラインが、副審の責任ラインです。
（明らかな間違いのみ主審がオーバールールすることができる。）